

# 県立九十九里自然公園の 海浜部(乗入れ可能な区域を除く)への 車両等の乗入れはできません。 車両等の乗入れ規制にご協力ください。

県立九十九里自然公園は、白い砂浜と緑の松林が弓状に続き、千葉県が全国に誇る景観の一つです。ハマヒルガオなどの海浜植物が分布し、コアジサシが巣を作ったり、アカウミガメの産卵地でもあります。

こうした県立九十九里自然公園の自然環境が、車などの無秩序な乗入れで破壊されないよう、県では、平成10年4月1日から車両等乗入れ規制を実施しています。

規制区域は、旭市から一宮町までの約60キロメートルの砂浜などの海岸地域で、漁業関係者の車両、許可車両、緊急車両を除き、車両等の乗入れはできません。

ご理解とご協力をお願いします。



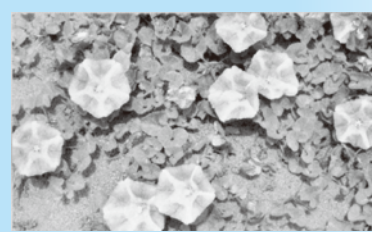
**◀アカウミガメ**  
 通常の甲長:約70cm以下  
 老熟個体で90cmを超えるものもある。  
 「種の保存法」で国際希少野生動物種に指定されている。  
 千葉県レッドデータブックで最重要保護生物Aに選定されている。

**車両等の進入による被害例**  
 ふ化したての子ガメが海へ行く途中に、車両のわだちにはまり出られなくなる。

**▶コアジサシ**  
 体長:約28cm  
 海岸や河川の砂浜などに生息。夏鳥として渡来し、地面に巣づくりするカモメ科の渡り鳥。  
 「種の保存法」で国際希少野生動物種に指定されている。  
 千葉県レッドデータブックで最重要保護生物Aに選定されている。



**車両等の進入による被害例**  
 地面に作った巣が車両等により踏みつぶされてしまう。



**◀ハマヒルガオ**  
 ヒルガオ科の多年草で深く根を下ろし、茎は砂上を這う、葉は堅く丈夫で風や乾燥に耐える。5～6月にアサガオに似た淡紅色の花をつける。

**車両等の進入による被害例**  
 ハマヒルガオの植生地が車両等によって踏みつぶされてしまう。

## 県立九十九里自然公園 (平成29年度)

